

江戸文化に思いを馳せて！ 街歩き台東散歩 Walking in Taito

第7回

上野～竜泉～千束～三ノ輪

趣ある下町に、歴史の面影を訪ねる

総距離：4～5km 総時間：3～4時間

上野駅から、三ノ輪方面へ足を進めて、風情ある通りや人情あふれる商店街を巡りつつ、かつて吉原が置かれた地域などを訪れる散策ルートです。現在の風景の向こうに、当時の人々の息吹を感じてみては。

1 銀座線踏切

地下鉄なのに、踏切が！

上野駅の近くにある、日本で唯一の「地下鉄」踏切です。東京メトロ銀座線の車両が地上の車庫と行き来するために設けられたもので、道路側にも遮断機があるという変わった構造をしています。タイミングが合えば、地下鉄の車両が地上を移動する珍しい光景を見ることが出来ます。



▲ビルの谷間に突然現れる踏切

2 源空寺

徳川將軍家と銅鐘

開山者である円嘗上人には徳川家康も帰依したとされ、寺号は浄土宗の開祖・法然上人源空に由来します。高さ2mを超える大型の銅鐘は3代將軍家光の要請で作られたもので、1996(平成8)年度、台東区有形文化財に指定されました。境内には伊能忠敬や谷文晁らの墓所も。



▲銅鐘が吊られている鐘楼も見どころ

3 曹源寺(かっぱ寺)

お賽銭箱の上には、キュウリ!?

開創は1588(天正16)年。水害に苦しむ人々のために私財を投じて新堀川(現在のかっぱ橋道具街通り)の掘削工事を行った江戸時代の両合羽商、喜八が葬られています。喜八に窓のある河童が工事を手伝い、その河童を見た者は運が開けたという言い伝えにちなんで「かっぱ寺」とも呼ばれます。



▲河童大明神の周りには色々な河童が

4 鷲神社

全国に知られる「酉の市」

「おとりさま」の愛称で呼ばれる神社で、11月の「酉の市」には毎年多くの人々が訪れ、福運や財を「かき込む」ことから「かつこめ」「はっこめ」と呼ばれる熊手御守が授けられます。年中行事として古くから親しまれてきたこの市の様子は、『たけくらべ』ほか多くの文学作品に記されています。

5 吉原弁財天

関東大震災時に池で溺死した人々の供養のために造立

江戸時代初期まで湿地帯だったこの辺りでは、吉原の移転に当たって埋め立て工事が行われ、その際に残った池のほとりにいつしか弁天祠が祀られました。当時遊郭楼主らの信仰を集めた吉原弁財天の神様は、1935(昭和10)年に吉原神社に合祀されて以降、この場所と吉原神社の二か所に祀られています。



高村製缶(株)

1943(昭和18)年に創業した缶や各種容器の専門店。500種類以上の商品を取り扱っており、缶は自社工場熟練の職人が生産。中には小物入れにしたいような可愛らしい和紙缶も。観光の思い出を入れるのにぴったりの一品が見つかるかも。

● 松が谷 3-18-12
☎ 03-3841-0127
● 月～金曜日 9:00～17:30 (土曜日は17:00まで)
● 日曜日・祝日
http://www.takamura-can.co.jp/

▲プレゼント → P6

どうしょう窯 本店

スタイリッシュで独創性あふれるこだわりの器を取り揃えた「どうしょう窯 本店」。モダンな和食器を多く扱う本店の近くには、洋食器を中心とした3号店もあり。新しい器との出会いが、日々の彩りを添えてくれます。



● 松が谷 3-17-13
☎ 03-5830-7752
● 月～土曜日 10:00～19:00 (日曜日・祝日は18:00まで)
● 無休
http://www.tousyougama.com/

▲プレゼント → P6



GOAL

いろは会商店街にて「あしたのジョーまつり」を開催!

あしたのジョーの像

9 千束稲荷神社



「飛不動」の通称で知られ、近年では航空安全の守護神として有名になりました。

8 一葉記念館

一葉旧居跡碑

吉原大門跡

7 五十間道

見返り柳

6 吉原神社

一葉板 小松橋通り

5 吉原弁財天

一葉板 小松橋通り



6 吉原神社

遊郭の総鎮守として崇敬されてきた

吉原にあった五つの稲荷神社が明治時代初めに合祀され、この吉原神社となりました。関東大震災後、1935(昭和10)年には吉原弁財天も祀られ、現在に至ります。浅草七福神の一つで、パワースポットとしても知られており、付近にある「花吉原名残碑」からは往年の様子を窺うことができます。



▲プレゼント → P6

7 五十間道

吉原遊郭の正面玄関へ続いた道

江戸幕府公認の遊郭吉原(新吉原)の唯一の出入り口である吉原大門と見返り柳を結び通りは「五十間道」と呼ばれ、現在も当時と同じように「く」の字に折れ曲がり、日本堤(現在の土手通り)から中が見えないようになっていました。



SOI

和のアンティーク家具、作家による手作りの器やオリジナル手ぬぐいなど、「癒やし」と「なごみ」をテーマに日常使って楽しめる商品が豊富!! 贈り物にもぜひ。

● 西浅草 3-25-11 羽羽橋咖啡 2F
☎ 03-6802-7732
● 12:00～18:00
● 月曜日
http://www.soi-2.jp

▲プレゼント → P6

〈企画展〉吉原細見の世界

日時 開催中～9月17日(水)まで

会場 台東区立中央図書館 2階(郷土・資料調査室)

《企画展関連の催し》

★専門員によるスライド・トーク

日時 7月10日・8月14日・9月11日

(すべて木曜日、午後1時30分～2時)

会場 台東区生涯学習センター 504 教育研修室

※30分程度・申込不要・参加費無料・先着50名

(詳しくはホームページ http://www.taitocity.net/tai-lib/ をご覧ください)

所在地 台東区西浅草 3-25-16

問 台東区立中央図書館 ☎ 03-5246-5911

《同時開催》三浦屋と『江戸風俗人形』(展覧会)

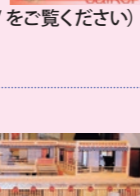
日時 開催中～8月17日(日)まで

会場 台東区立下町風俗資料館

所在地 台東区上野公園 2-1

問 下町風俗資料館 ☎ 03-3823-7451

・地域資料としての吉原細見
・吉原細見に関わった人びと
・吉原細見のいろいろ



8 一葉記念館

生活のために筆を執った一葉の足跡

叙情性に富んだ作品で名声を得、女性作家の先駆けとなった樋口一葉の記念館。第一作『闇桜』の原稿、代表作『たけくらべ』の草稿ほか、下谷龍泉寺町(現在の台東区竜泉)で荒物・駄菓子店を営んでいた頃の仕入帳、愛用の紅入れなど、貴重な資料やゆかりの品々が展示されています。

▲プレゼント → P6

1 特別展〈歌塾「萩の舎」～樋口一葉 文学の土壌～〉(仮)

10月1日(水)～12月24日(水)

会場: 台東区立一葉記念館 (詳しくはホームページ又は当館へ)

一葉記念館「ミニ企画展」のお知らせ 9月未まで

2 「手紙のおてほん パート2」～8月中旬(予定)

3 「博物館実習生による展示」(仮)8月中旬～9月初旬(予定)

4 「一葉とお裁縫」(仮)9月初旬～9月24日(水)(予定)

会場: 台東区立一葉記念館 展示室3(一部)

主催: 台東区立一葉記念館 ☎ 03-3873-0004

所在地: 台東区竜泉 3-18-4

入館料: 【個人】大人 300円/小中高生 100円

【団体】大人 200円/小中高生 50円

交通: 日暮里駅より錦糸町駅行きバス「竜泉」下車徒歩3分・東京メトロ日比谷線「三ノ輪」駅徒歩8分

H P: http://www.taitocity.net/taito/ichiyo

9 千束稲荷神社

樋口一葉ゆかりの神社!

寛文年間(1661～72年)に創建されたと伝わり、竜泉地域の氏神として信仰されてきました。吉原近辺に生きる子供たちを描いた小説『たけくらべ』に賑やかな祭りの様子が描かれるなど、樋口一葉にゆかりの深い神社です。境内には一葉の胸像があり、台座には日記の一文が刻まれています。



「吉原」と「歌舞伎」

江戸幕府公認の遊郭だった吉原と、絶大な人気を誇った芸能・歌舞伎。これらは江戸の二大悪所とされつつも、人々の関心を集め、江戸という時代の文化や流行の源泉となっていました。

役者を描いた絵は爆発的に売れ、役者の人気や知名度を利用した化粧品や小間物、菓子などが次々に登場しました。また、着物の模様や色の流行への影響力は非常に大きく、「時のやはり模様大かた歌舞伎芝居より出づる」と言われたほどでした。1842(天保13)年には幕府が興行を認めた三大歌舞伎劇場である江戸三座が、猿若町(現在の台東区浅草6丁目)に移転。吉原と歌舞伎が、浅草寺の裏手に揃いました。

1617(元和3)年から暮屋町(現在の中央区日本橋人形町)に置かれていた吉原は、1657(明暦3)年、幕府の命令で日本堤(現在の台東区千束4丁目)へ移転します。吉原は遊郭としては最大の規模で、裕福な商家などの社交場としての側面を持っていただけでなく、庶民をも引きつける場所でした。高級遊女の髪型や服装が一般の女性に広まったり、数々の三味線楽が成立したりしたほか、代表的な江戸文様の一つである「吉原繫ぎ」という模様や、今日も使われている「冷やかし」「通」といった言葉もここから生まれました。

17世紀初めに起こった歌舞伎は、庶民の娯楽として親しまれました。有名

和えん亭 吉幸 本クーポン提示で(7月1日～10月末日) ドリンク1杯プレゼント

満足道具のあふれる街 かつば橋道具街 東京合羽橋商店街振興組合

新発想メガネ価格!! メガネセット ¥3,240(税込) 有名ブランドフレーム

内科 消化器内科 呼吸器内科 禁煙外来・在宅医療も行っています。

江戸幕府公認の遊郭だった吉原と、絶大な人気を誇った芸能・歌舞伎。これらは江戸の二大悪所とされつつも、人々の関心を集め、江戸という時代の文化や流行の源泉となっていました。